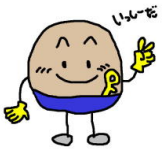
家庭数配付

石田小学校だより　１０月号　　甲府市立石田小学校（電話　２２２－５４１４）



悠紀だより

平成２６年　１０月１６日　発行責任者 校長 乙黒　崇

本校の学力･学習状況をお知らせします

本年度の全国力・学習状況調査は４月２２日（火）に，全国の小学校第６学年及び中学校第３学年の全児童生徒を対象に実施されました。本校でも当日は欠席もなく，６年生５８名が全員参加しました。

調査内容は，大きく①教科に関する問題（国語・算数）と，②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に分かれ，各教科もＡ：主として「知識」に関する問題と，Ｂ：主として「活用」関する問題に分かれています。

この調査は，本校の児童の学力や学習状況を把握・分析し，各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより，今後の指導内容や指導方法の改善や生活指導などに役立てることを目的とします。

去る８月２６日に文部科学省から本校の結果が送られてきました。本校でも運動会などの学校行事への取組と平行して，調査結果の分析を行ってまいりました。このたび分析結果がまとまりましたので，その概要を保護者の皆様にお知らせするとともに，本校のホームページにも掲載していきたいと思います。

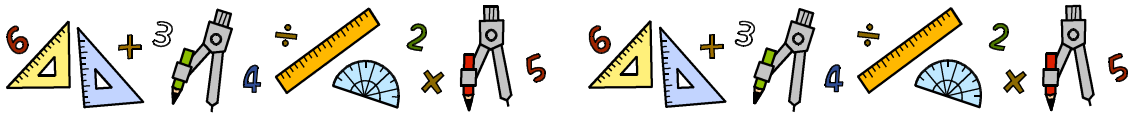
なお，調査に参加しました６年生一人一人には，個別懇談会を利用して個人票をもとに，具体的に課題等について説明していく予定です。よろしくお願いいたします。

分析結果の概要

１　本校の状況（全国との比較）

本校の国語の結果は，国語Ａは全国平均とほぼ同等となっていますがやや下回り，国語Ｂは全国平均をやや上回りました。算数では，算数Ａ，算数Ｂとも全国平均とほぼ同等となっていますが，やや下回りました。

この調査の結果につきましては，山梨県教育委員会の分析にもあるように，全国平均正答率のプラスマイナス５ポイントの範囲にあるため，ほぼ同等であると考えています。



２　教科ごとの状況と課題

国　語

Ａ　主として「知識」に関する問題

○物語を読む際，登場人物の関係から人物像や役割を押さえたり，情景などの描写から心情を捉えたりする問題の正答率は高く，その力はよく身についている。

○文の意味のつながりや言葉の意味と使い方を捉える設問の正答率も高い。

□漢字を読む力はよく身についているが，正しく書くことの定着が不十分である。

□「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」など，故事成語についての正確な意味や使い方の理解が不十分である。

Ｂ　主として「活用」に関する問題

○目的に応じて話し合いの観点を整理する問題，立場を明確にして質問や意見を述べる問題，二つの詩を読み比べて表現の工夫を捉える問題など，ほとんどの項目で全国平均を上回る正答率であり，活用力は身についている。

○特に，二つの詩を比べて読み，自分の考えを書く問題では，全国平均を大幅に上回っている。

□課題を解決するために，目次や索引を活用して，本を効果的に読む問題の正答率が低い。

□詩の解釈における着眼点の違いを捉える問題の正答率も低い。

算　数

Ａ　主として「知識」に関する問題

○乗法（９０３×６），小数になる除法（２÷５），分数の加法（ $\frac{1}{3}$ ＋ $\frac{2}{5}$ ）では，いずれも全国平均を上回り，基本的な計算する力は定着している。

○分数の大小について比べる問題は，正答率が高い。

○１㎡あたりの人数を求めるという，単位あたりの大きさを求める問題の正答率は高い。

□減法と乗法の混在した計算（１００－２０×４）の正答率が，他の計算問題に比べて低い。

□二つの数量の関係について，単位量あたりの大きさを調べる場面と図とを関連づける問題の正答率が低い。

□平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質を理解しているかという問題の正答率が低い。

□二つの数量の関係を□，△などの記号を用いて式に表す問題の正答率が低い。

Ｂ　主として「活用」に関する問題

○スープの分け方を問う出題で，示された情報を基に，必要な量と残りの大小を判断し，その理由を記述する問題の正答率は高い。

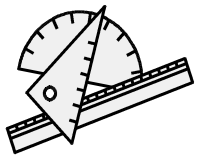
○繰り返されるリズムの規則性（周期）を見いだし，それを基に小節数を求める問題の正答率が高い。

○基準となる量の１．５倍の長さを表している図を選択する問題の正答率が高い。

□プールの水の使用量について，何倍かを求める問題の正答率が低い。

□棒グラフの棒を最大値に着目して，枠の中に表せない理由を記述する問題の正答率が低い。

□全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する問題の正答率が低い。



３　教科における主な改善点

国　語

※漢字を習得させるためには新出漢字を繰り返し練習したり，既習の漢字を意図的に復習したりできるように指導する。

※故事成語を習得させるために，学校生活のいろいろな場面で取り上げるようにしながら，適切な使用について理解できるよう指導する。

※詩の内容や表現の工夫を捉えるために，比喩，反復，擬態語，擬声語などの表現や表記の仕方などについて，具体的な事例を示しながら指導する。

※読み聞かせなどを利用して多くの物語に触れる機会を増やすとともに，読書活動のさらなる推進，目次や索引を活用して本を効果的に読む指導も進める。

算　数

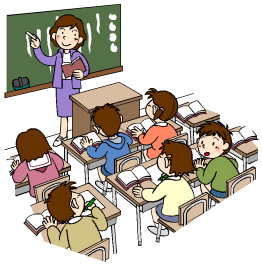
※基礎的・基本的な計算の技能の習熟を図るために，繰り返し学習に取り組ませる。

※単位量あたりの大きさや倍の問題を理解できるようにするために，線分図を利用しながら問題場面に応じて立式ができるように，分かりやすい指導をする。

※作図の手順を図形の特徴と関連づけて理解できるように指導する。

※グラフを書くときには，目的に応じて目盛りの大きさやグラフ全体の大きさを決める活動を取り入れながら，それを言葉で説明できるように指導する。

※日常生活での事象や他教科等での場面を取り上げ，その中にある数量の関係から規則性を見いだせるように指導する。



４　質問紙調査の主な特徴（全国との比較）

生活習慣について

○「毎日同じくらいの時間に起きている」と回答した児童の割合は，全国平均を２０ポイント近くも大きく上回り，規則正しい生活リズムが定着できている。

○「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある」と回答した児童の割合は，全国平均を８ポイントほど上回り，「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」も４ポイント上回っている。

○平日テレビ・ビデオ・ＤＶＤの視聴時間が「４時間以上」と回答した児童の割合は低く，１３ポイント下回り，全国に比べて視聴時間は短い。

○携帯電話・スマートフォンの所持率は４３％。（全国…５４％　県…５３％）

□「平日にゲームをする時間が１時間より少ない」と回答した児童の割合は低く，１６ポイントほど下回り，全国に比べてゲームをする時間は長い。

□「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童の割合は，全国平均を４ポイント下回っている。全国に比べて，自己肯定感がやや低い。

学習に対する関心・意欲・態度について

○「友だちに伝えたいことをうまく伝えることができる」は１０ポイント上回っている。

○「友だちと話し合うとき，友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」は，３０ポイントと大きく上回っている。

○「読書が好き」と回答した児童は２５ポイントと大きく上回っている。

□「将来の夢や目標を持っている」は，２５ポイント下回っている。

□「算数の勉強は好き」と回答した児童は全国を９ポイント下回り，国語に比べて算数に苦手意

識がある。

５年生までに受けた授業について

○「学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した児童が１３ポイント上回る。
○「自分の考えを発表する機会があった」と回答した児童は，９ポイント上回る。

家庭学習について

○学校以外で勉強している時間（塾・家庭教師を含む）は，平日・土日とも全国に比べて長い。
　特に，「土日に１時間以上勉強している」割合は，全国に比べて２０ポイント近くも上回る。
○学校以外で読書をしている時間は，平日・土日とも全国に比べて長い。
○塾（家庭教師）に通ってる割合は５５％。（全国…４８％　県…４５％）
○「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」は，１５ポイントも上回っている。

地域とのかかわりについて

○「地域の行事に参加している」と回答した児童は全国と変わらない。
□「地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある」と回答した
　児童は６ポイント全国を下回る。

５　質問紙調査からの改善点

※朝起きる時刻が規則的で定着しているところは継続し，平日にゲームをする時間が少なくなるように家庭と連携して取り組む。
※読書好きの児童が多いので，読み聞かせなどをこれまで以上に多く取り入れ，朝読書・図書館での授業のさらなる改善によって，より一層読書活動の推進に努める。
※算数の授業に興味が持てるよう，個別の支援やティーム・ティーチングなど，授業形態の工夫や誰でも理解できる分かりやすい授業に努めるなど，授業改善に取り組む。

――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――

家庭での学習習慣の定着に御協力を！

――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――――家庭学習の定着――

　質問紙調査の結果を見ると，本校の児童は朝起きる時刻が一定であり，基本的な生活習慣が身についており，学習に対する関心・意欲・態度の意識も高く，読書をすることが大好きであるという良い面がたくさんあることがわかりました。これまで学校でも，読書ボランティアの活動など，様々な働きかけにより，読書活動の推進に取り組んできたことは，国語の学習に良い影響を与えているということが，学習状況調査の結果からも明らかです。今後においても，学校や家庭で大切にしていきたい活動です。
　学校以外で勉強している時間は，全国に比べて長く，さらに家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答する児童も多いので，これからも継続して計画的に家庭学習に取り組んでくれることを期待しています。
　学校でも宿題の出し方などについてさらに工夫改善し，児童自らが自主的に学習に取り組むことができるように働きかけていきたいと考えます。各御家庭におきましても家庭学習の習慣が定着できるよう，学習環境を整えるなど，御理解と御協力をよろしくお願いいたします。